

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル 恵南地域アグリスクール

J A 名 ひがしみの (岐阜県)

1 動機 (経緯)	女性部活動の一環として毎年「親子夏山ハイキング」を行っていたが、回を重ねるにつれて、行先選定が困難になったり、学校行事と重なったりと、参加者減少を危惧する中、打開策としていろいろ検討し、H21年とH22年には、長野県で収穫体験（ジャガイモ・トマト・きのこ）を実施した。そんな中、わざわざ遠くに行かなくても地元ひがしみのにも豊かな自然や、おいしい農産物もたくさんあることからH23年よりアグリスクールを開校した。
2 概要	「みんなあつまれ！JAのアグリスクール～食の大切さを学ぼう！～」の見出しで、全7回開催（4月～10月）の内容を、地元の小学校への働きかけや新聞コミュニティ広報誌に掲載し募集をかけ、25年度は、親子19組43名の参加をいただき、夏野菜定食、サツマイモ定食、えだまめ種まき、秋野菜種まき、ジャガイモ掘り、サツマイモ掘り、秋野菜収穫等を親子で学んでいただきました。
3 成果 (効果)	子供たちは、食べる「命をいただく」ことの大切さを学ぶことができる。 土から栄養を吸収して食物ができ、その命を頂くことによって人間が生きられる意味を体験することは、子供たちの人生に大きな影響を与えます。 自分達で収穫した農産物で、自分達で料理し、食することは、参加した子供達にとって、とても大切な素晴らしい宝物になる。 子供達だけでなく参加した若い親の方々も収穫の喜びを味わっていただくだけでなく、子供たちの素敵な笑顔にふれあい共に活動することの喜びを感じていただくことができました。 一方、JAにおいても正しい知識を子供たちに伝えるため職員も改めて勉強し技術を習得するなど、子供達にエネルギーを頂き、通常業務の中に生かされている。
4 今後の 予定 (課題)	4つのアグリセンターを拠点に募集をかけたが恵南地域以外の参加者が少なく募集方法の検討が必要と考える。 この取組は、教育現場でも取り上げられている食育に通じており、食文化の継承を図ること、自然の恵みや勤労の大切さなど理解していただく機会として継続、拡大したい